

令和8年度 西播磨県民局重点施策（案） 補足説明資料

I 元気な西播磨

～地域の強みを活かした賑わいと活力のあるまち～

1 「水」と「緑」と「古（いにしえ）」に出会う西播磨ツーリズムの推進

(1) ㊦西播磨の山と海をつなぐ・めぐるプロジェクト ～FPで紡ぐ水ものがたり～	1
(2) 脱パンフレット「観光カード」による省スペースな観光プロモーション	2
(3) ㊦「西播磨の山城」魅力情報発信	3
(4) 西播磨北部地域の魅力発信	4
(5) 西播磨ツーリズム拠点の整備	5

2 地域資源の更なる魅力アップ

(6) 西播磨ツーリズムの総合的推進	6
(7) ㊦みーつけた de 西播磨	7
(8) 赤穂海浜公園リノベーションの推進	8
(9) 兵庫・鳥取県際交流～日本の原風景“国道29号沿線地域”賑わいづくり～	9
(10) 兵庫・岡山県際交流～“播磨・備前・美作国境地域”賑わいづくり～	10
(11) 兵庫・岡山県際交流～“赤穂線沿線4市”観光PR～	11
(12) 西播磨ふるさとの風景づくり	12

3 選んでもらえる西播磨暮らし

(13) 西播磨暮らしサポートセンター(移住・空き家ワンストップ相談窓口)の運営等	13
(14) ㊦次世代農業の担い手確保	14
(15) 集まれ林業男子・林業女子 in 西播磨	15

4 地域の特徴を活かした産業振興

(16) 西播磨ビジコン・ビジマッチ	16
(17) ㊦西播磨フードセレクション episode.2	17
(18) ㊦西播磨版スマート農業の推進	18
(19) ㊦西播磨サステナブル農業の振興・創造支援	19

II つながる地域のきずな西播磨

～地域でともに支え合う繋がりのあるまち～

1 地域を担う人材の育成

(20) 地域づくり活動応援事業の推進	20
(21) 西播磨地域ビジョンの推進	21
(22) ふるさと意識醸成プロジェクト	22
(23) ㊦西播磨インフラツアーの開催	23

【再掲 P16】西播磨ビジコン・ビジマッチ

2 縁を結ぶ地域づくり

(24) “結婚っていいな！”西播磨縁結び推進事業	24
---------------------------	----

Ⅲ 自立の西播磨

～地域で循環するまち～

1 播磨科学公園都市の賑わい創出と魅力発信

- (25) 西播磨フロンティア祭の開催 25

2 環境に配慮した持続可能な地域づくりの推進

- (26) 「CO₂CO₂（こつこつ）減らして西播磨」事業

- ① 環境学習の推進 26
② 西播磨エコフェス事業 27

【再掲 P20】地域づくり活動応援事業の推進

- (27) 恵み豊かな清流千種川復活大作戦 28
(28) 環境対策の推進 29

Ⅳ 安全安心の西播磨

～誰もが安心していきいきと暮らせるまち～

1 誰もがいきいきと暮らせる安全安心な地域づくり

- (29) ④防災対策にかかる県民意識向上の推進 30
(30) 引原ダム再生事業の推進 31
(31) 総合治水の推進 32
(32) 西播磨「田んぼの力」プロジェクト 33
(33) ④西播磨地域 障がい者社会参加プロジェクト 34

2 暮らしを支える社会基盤の整備

- (34) 姫新線利用促進・活性化対策 35
(35) 播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり 36

※

④：新規事業

④：拡充事業

⑨ 西播磨の山と海をつなぐ・めぐるプロジェクト

1 事業目的

地域に根付く体験型観光資源であるフィールドパビリオン（F P）を拠点として、圏域全体を対象に人と心を“つなぎ”地域を“めぐる”交流と循環の渦を生み出し、西播磨の未来を開拓する事業を展開していく。

2 事業内容

(1) 西播磨F P周遊マップの作成

F P認定プログラムの体験と、代表的な観光地や地元のグルメも併せて堪能できるお薦めモデルコースを、日帰りと宿泊に分けて紹介した周遊マップをF Pプレーヤーと一緒に作成する。

(2) F Pで紡ぐ千種川・揖保川水系 水ものがたりモデルツアーの実施

水系毎に、F Pを組み込み、著名インフルエンサーも同行した各種体験プログラムを巡るモデルツアーを実施し、参加者やインフルエンサーから幅広く情報発信を行う。

(3) 「つなごう西播磨！F Pフェア」の開催

西播磨地域のF Pプレーヤーが、ブース出展やステージイベントを実施し、F Pの認知度向上や、魅力発信を行う。

3 予算額 8,000千円

担当：県民躍動室

地域振興課長 西尾 祥子

(Tel. 0791-58-2365)

脱パンフレット「観光カード」による省スペースな観光プロモーション

1 事業目的

西播磨地域の知名度向上と誘客促進を図るため、若年層及びインバウンドをターゲットに、パンフレットに代わる省資源・省スペース・多言語対応可能な写真映えする観光スポットのカードを作成し、西播磨の魅力を発信する。

2 事業内容

管内の写真映えする観光スポットの観光カード（24 種類）を2つのラックに収め、多くの人を訪れる場所に配架し、西播磨の魅力を PR する。（お土産代わりにのカード持ち帰りによる SNS 等での情報拡散も期待する）

【配架場所例】

- ・観光案内所（姫路観光ナビポート(期限あり)や JR 相生駅等）
- ・各イベント 等

※観光カード

名刺サイズのカード。記載の二次元コードを読み取ると、10 言語対応の観光サイト「JFM」西播磨に繋がり、同サイトから Google マップ、インスタ等と連動し、目的地までの行程や周辺の観光情報の入手が可能。（観光カードコレクターの西播磨地域への誘客効果にも期待する）

3 予算額 500千円

担当：県民躍動室

地域振興課長 西尾 祥子

(TEL. 0791-58-2365)

㊦ 「西播磨の山城」 魅力情報発信

1 事業目的

「西播磨山城復活プロジェクト (R2~R4)」事業の成果を継承し、地域資源を活かした西播磨の魅力向上に取り組み、来訪者の増加による交流人口の拡大と住民のシビックプライドを醸成する。

2 事業内容

県内外・国内外の人々と地域資源である西播磨の山城を繋ぐため、山城のさらなる魅力を向上する事業を展開し、「西播磨の山城」の認知度の向上や持続可能な来訪者の受入体制の充実、強化などに取り組む。

(1) 山城ガイドによる大規模イベントでの魅力発信

地元住民を中心として育成した「山城ガイド」が、お城に関する全国的な大規模イベントで自ら情報発信し来場者と交流することで、西播磨の山城の魅力を全国に発信する。

- ・イベント名：お城E X P O 2026
- ・開催時期：令和8年12月中旬（2日間）
- ・開催場所：パシフィコ横浜ノース
- ・来場見込：約20,000人（R7実績23,017人）

(2) 山城ガイドの後進育成

地元住民による山城ガイドの後継者不足に対応する山城ガイド育成講座等を開催する。

(3) 県立高等学校への出前講座の実施（新規）

山城ガイドによる出前講座を実施し、地元の山城の歴史や文化、地域の魅力について伝えることで地元へ関心を持つきっかけをつくる。また、地域のガイドや山城という観光資源に触れることで、地域活性化や観光振興に関わる意識向上に繋げる。

(4) ARアプリ「西播磨の山城へGO」の充実

未掲載の山城CGの追加

(5) 山城とひょうごフィールドパビリオンをつなぐラリー

西播磨の山城とひょうごFPに誘客するデジタルスタンプラリーを開催する。

3 予算額 8,000千円

担当：県民躍動室
地域振興課長 西尾 祥子
(TEL. 0791-58-2365)

西播磨北部地域の魅力発信

1 事業目的

北部地域にある優れた地域資源を効果的に活用することにより、交流人口の拡大や雇用の創出を図る。

2 事業内容

西播磨北部地域を中心とした過疎地域の活性化のモデルケースとして、宍粟市・市観光協会・県民局・アウトドア事業者からなる「宍粟市多自然地域活性化実行委員会」へ負担金を支出し、同市北部の魅力発信を行う。

3 予算額 1, 0 0 0 千円

担当：県民躍動室

地域振興課長 西尾 祥子

(TEL. 0791-58-2365)

西播磨ツーリズム拠点の整備

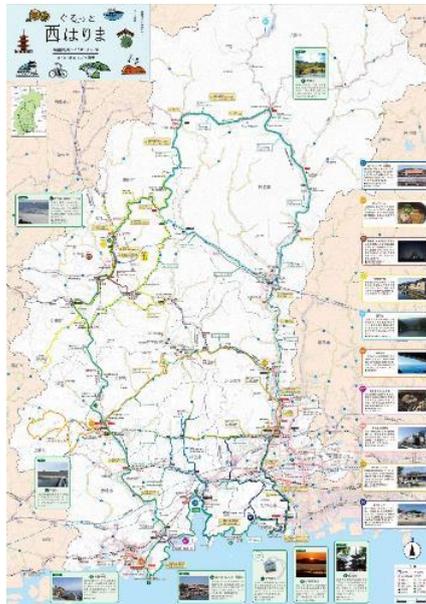
1 事業目的

西播磨地域は、海・川・山・森などの自然に恵まれ、多様な風土の中で培われてきた食文化、数多く残る山城跡や伝統的な建造物群など歴史的風致を形成する地区、ダムなどの社会インフラ施設など、様々な見どころが広く存在する。

アウトドアツーリズムによる地域活性化を図るため、点在する見どころを、公共交通、自動車、バイク、自転車など、様々な移動手段で巡るための環境を整備する。

2 事業内容

- ・サイクリング環境整備（ガイド増刷、更新等）



- ・サイクリストが立ち寄る店舗などへのサイクルラック設置支援



3 予算額 800千円

担当：光都土木事務所
所長補佐(企画調整担当) 木下 長茂
(TEL. 0791-58-2229)

西播磨ツーリズムの総合的推進

1 事業目的

西播磨地域の豊かな自然や歴史、体験・交流イベント等多彩なツーリズム資源を活用し、西播磨のツーリズム振興を図るとともに地域の活性化に資するため、市町、観光協会、有識者等から成る「西播磨ツーリズム振興協議会」(平成15年7月設立)を中心に、観光振興による交流人口拡大と地域活性化につながる効果的な情報発信や各種事業を展開する。

2 事業内容(詳細は、構成団体と協議の上決定)

(1) ツーリズム資源の魅力アップ

- ア ホームページ「西播磨遊記」による情報発信
- イ ツーリズム情報誌「Enjoy! 西播磨」の発行
- ウ 西播磨ツーリズムバス助成
日帰り@25千円×10台、宿泊@50千円×2台
- エ 「水と山城のさとツーリズムマップ」等の増刷、改訂
- オ ARアプリ「西播磨の山城へGO」維持管理

(2) PRイベントへの出展

多くの集客で賑わう西播磨県民局管内外のイベントに出展し、西播磨の観光資源をPRする。

3 予算額 6,450千円

担当：県民躍動室
地域振興課長 西尾 祥子
(TEL. 0791-58-2365)

新 み一つけた de 西播磨

1 事業目的

近年、旅行先の選定や店舗選びにおいて SNS の影響力が急速に高まっている。特に若年層は、広告よりもインフルエンサーの“体験共有”を重視する傾向が強く SNS の写真や動画が地域選択の大きな判断材料となっており、インフルエンサーの影響力を活用した地域 PR の魅力発信を行うことで西播磨地域への誘客を図る。

2 事業内容

(1) インフルエンサーによる PR

インフルエンサーに西播磨のグルメや山城、体験施設、その他観光名所等を訪れていただき、写真や動画等でリアルタイムな情報発信を行う。また、西播磨ツーリズム観光協議会の SNS アカウントを引用することで、同アカウントの新たなフォロワー獲得と観光客の増加に繋げる。

(2) 西播磨の観光スポット紹介冊子作成

西播磨の魅力を効果的に発信し、観光誘客の促進を図るため写真や体験情報を盛り込み、紙媒体とデジタル版の併用により、幅広い層への認知拡大を行う。

3 予算額 7,488千円

担当：県民躍動室
地域振興課長 西尾 祥子
(TEL. 0791-58-2365)

赤穂海浜公園 リノベーションの推進

1 事業目的

令和7年4月から20年間の長期指定管理を導入し、指定管理者の積極的な投資による収益施設整備やイベント運営などと併せて、県による展望施設などの新規施設整備や既存施設の更新を進め、公園の新たな魅力づくりを推進する。

2 事業内容

- ・ SNS 等による発信
- ・ 展望施設等の施設整備
- ・ 指定管理者の積極的な投資による収益施設整備やイベント運営の実施



【参考】

- ・ R7.4～の指定管理者（グループ）：あこうシーAko汐サイドヴィレッジコンソーシアム（グループ構成員（5者））
（公財）兵庫県園芸・公園協会、コーエイ(株)、くいどうらく(株)、(株)三木組、(株)FDC
（主な取組内容）

自由広場：① カフェ併設ドッグラン（新設）

② 海を望むカフェ（新設）

③ わくわくランドエリア拡張

オートキャンプ場：① グランピングエリア（新設）

② 既存コテージリニューアル

わくわくランド：遊具リニューアル

- ・ 指定管理期間：R7.4.1～R27.3.31（20年間）

3 予算額 本庁予算（公共）＋民間資金

担当：光都土木事務所
港湾課長 竹川 智弘
(Tel. 0791-58-2249)

兵庫・鳥取県際交流～日本の原風景“国道29号沿線地域”賑わいづくり～

1 事業目的

「日本の原風景」と呼ぶにふさわしい、四季折々の自然や農山村の景観、歴史的価値のある文化的景観などの地域資源を現在も多数とどめる国道29号沿線地域の活性化を図るため、鳥取県や沿線市町と協力して「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」の実施する交流や情報発信事業に加えて、沿線の地域づくり活動団体で構成する「日本風景街道新因幡ライン協議会」の実施する住民主体による地域づくりの取組を支援する。

2 事業内容（詳細は構成団体と協議のうえ決定）

- (1) 「国道29号周辺 兵庫・鳥取地域振興協議会」事業の実施
デジタルスタンプラリー、ニク（29）ロード推進事業など
- (2) 「日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会」事業の実施
新因幡ラインインスタ投稿キャンペーン、日本風景街道新因幡ライン協議会の実施する事業（沿線緑化、賑わいづくりイベント等）への補助など

3 予算額 800千円

担当：県民躍動室
地域振興課長 西尾 祥子
(Tel. 0791-58-2365)

兵庫・岡山県際交流～“播磨・備前・美作国境地域”賑わいづくり～

1 事業目的

観光・交流人口の拡大を図るため、西播磨・備前・美作と古来からつながりのある三地域に共通した観光資源（黒田官兵衛、宮本武蔵等の歴史資源や牡蠣、温泉等）を活用した交流事業を、岡山県（備前県民局、美作県民局）と連携して実施する。

2 事業内容（詳細は、3 県民局で協議の上決定）

(1) 共同交流事業

西播磨・備前・美作の三地域に共通した観光資源を活用した交流事業を実施

(2) 共同広報事業

PRイベントでの共同出展

3 予算額 1,000千円

担当：県民躍動室

地域振興課長 西尾 祥子

(TEL. 0791-58-2365)

兵庫・岡山県際交流～“赤穂線沿線4市”観光PR～

1 事業目的

美しい多島海と複雑な構造の入り江といった共通の自然環境を有し、かつては海を通じてつながり、現在は赤穂線を通じてつながりのある備前県民局と沿線4市（相生市、赤穂市、備前市、瀬戸内市）と連携して一体的に売り出すことにより同地域への誘客を促進するため、4市に共通した観光資源をPRする。

2 事業内容（詳細は構成団体と協議のうえ決定）

(1) 国内向け情報発信事業

赤穂線沿線地域の観光コンテンツの情報発信

(2) かきシーズンPR事業

かきPRポスター等を制作し、岡山・兵庫・京都・大阪のJR主要各駅で掲出するなどプロモーションを実施

(3) まち歩き関連事業への支援

集客力強化に資するイベント開催経費について各市1回、10万円を限度に助成

(4) イベント事業への助成

集客力強化に資するまち歩きイベントについて各市1回、15万円を限度に助成

3 予算額 1,100千円

担当：県民躍動室

地域振興課長 西尾 祥子

(TEL. 0791-58-2365)

西播磨ふるさとの風景づくり

1 事業目的

美しい風景や歴史・文化などの地域資源を活かした地域づくり活動を進めるため、小中学校生等を対象にふるさとの風景をテーマに絵画コンクールを開催するとともに、市町や地域の団体等が行う風景・文化の保全活動を支援する。また、西播磨固有の風景・文化を形成する農業水利施設の魅力発信を行う。

2 事業内容

(1) 「ふるさとの風景絵画コンクール」の開催

将来を担う地域の小中学校生、高校生を対象に、ふるさとの風景をテーマに絵画コンクールを開催

(2) 施設等整備の支援

① 活動を高める（活動のステップアップを図るための施設等整備）

・直売所・加工所の整備、地域資源の案内板の設置[※]、棚田等の景観保全等

[実施主体] 地域づくり団体・市町等

[補助率] 定額、上限額 500 千円/件（※については 250 千円/件）

② 活動を支える（活動を支える生活基盤や生産基盤の整備）

・集落内の道路・水路の整備、展望スポットの整備[※]、ため池等の安全施設の設置等

[実施主体] 市町等

[補助率] 1/2 以内、上限額 500 千円/件（※については 250 千円/件）

(3) 歴史ある農業水利施設（ため池・井堰・水路等）の魅力発信

冊子「地域をまもる水物語」の題材となった農業水利施設を「西播磨水のさと」事業との連携により、「水」をテーマとした地域資源のスケッチ絵画を作成...岩田健三郎氏が行く「西播磨の旅～井堰やため池...疏水をめぐる～」を実施

3 予算額 3,300千円

(1) 「ふるさとの風景絵画コンクール」の開催	400千円
(2) 施設等整備の支援	2,400千円
(3) 歴史ある農業水利施設の魅力発信	500千円
計	3,300千円

担当：光都農林振興事務所
光都土地改良センター
農村計画課長 合田 弘

(Tel. 0791-58-2215)

西播磨暮らしサポートセンター
(移住・空き家ワンストップ相談窓口)の運営等

1 事業目的

西播磨地域への移住者を増やすことを目的として、移住を希望する方の暮らし全般の相談に対応するほか、空き家問題を抱えている西播磨地域の方の相談に対応するため、関係機関と連携し、ワンストップ相談窓口として、西播磨暮らしサポートセンターを運営する。

2 事業内容

(1) 西播磨暮らしサポートセンターの運営

移住コーディネーターを配置し、移住・空き家に関する電話・オンライン相談、面談などを実施

- ① 場 所 西播磨総合庁舎内ほか
- ② 運 営 業務委託
- ③ 相談体制 移住コーディネーター2名程度
- ④ 相談時間 月～金 9:00～17:00

(2) オーダーメイド型プチツアーの実施

- (3) 都市部での出張相談会や移住フェアへの出展
- (4) 西播磨暮らしの情報発信
- (5) 地域おこし協力隊向けセミナーの実施
- (6) 移住者向け広報冊子の作成

3 予算額 9,730千円

担当：県民躍動室

多自然地域づくり専門官 蒲原恵美子

(TEL. 0791-58-2133)

⑧ 次世代農業の担い手確保

1 事業目的

今後就農を視野に入れる高校生やU J I ターン者など、幅広く就農を希望する者へ、就農に向けての情報や相談・体験機会の提供等で就農に向けての実感を高めるとともに、雇用就農の受け皿となる経営体の雇用ニーズ拡大を図るなど総合的な支援を行い、新規就農者の確保を図ることで地域の活性化に資する。

2 事業内容

西播磨就農アグリフロンティア事業

(1) 事業実施主体

西播磨アグリフロンティアカレッジ運営協議会
(構成：市町、J A、上郡・佐用高校、県民局)

(2) 取組内容

ア 就農フェアの開催

就農相談ブースを設置し、就農希望者の個別相談を実施

イ 「西播磨就農ガイドブック」の作成

西播磨地域での就農に役立つ情報を掲載したガイドブックを作成・配布

ウ 中・短期農業体験研修

就農相談者に対する、中・短期の農業体験を支援

エ 雇用就農に関する研修

規模拡大志向の農業経営体に対する、雇用に関する知識習得の研修を実施

オ ローコスト型の新規就農モデルの検討（新規）

初期投資を抑制した新規就農者向け経営モデルの作成検討

3 予算額 2, 4 9 6 千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第1課長 尾西 賢一

(TEL. 0791-58-2193)

集まれ林業男子・林業女子in西播磨

1 事業目的

林業事業体が集中する西播磨地域における林業の担い手を確保するため、市町、森林組合、林業事業体と連携した林業体験会を開催する。

2 事業内容

※県立森林大学校の学校説明会と併催

(1)内 容：高性能林業機械等の実演・操作体験
林業事業体の活動パネル展示等

(2)対象者：林業への就業希望者、県立森林大学校への入学希望者

(3)場 所：宍粟市内の森林、県立森林大学校

3 予 算 額 5 0 0 千円



担当：光都農林振興事務所

所長補佐兼森林第1課長 岩成 麻子

(Tel. 0791-58-2197)

西播磨ビジコン・ビジマッチ

1 事業目的

西播磨地域の抱える人口減少、高齢化、空き家問題等の地域課題をビジネス的手法で解決するとともに、地域課題に取り組む志を持つ人材の発掘、育成等を目指し、新たな起業や新ビジネス創出を支援するビジネスプランコンテストを実施する。

また、最終審査会（決勝大会）進出者等と金融機関、市町創業支援担当者等との交流の場としてビジネスマッチング（交流会）を開催し、西播磨地域での円滑な起業を支援する。特にR8年度は、アフターフォローの一環として、地元企業とのネットワークを形成するための出会いの場を提供するなど、起業に向けて積極的な地域づくりの機運醸成を図る。

2 事業内容

(1) ビジコン

- ① ビジネスプランの募集
- ② 1次審査、2次審査、プランのブラッシュアップ支援
- ③ 最終審査会（決勝大会）の開催 ※審査委員は金融機関、経営アドバイザー等

【表彰】

- ・ローカルベンチャー部門（事業拠点設置の部）
最優秀賞 100万円×1名（1年以内に起業）
特別賞 10万円×2名、努力賞 2万円×2名
- ・ローカルベンチャー部門（事業拠点未設置の部）
最優秀賞 20万円×1名、努力賞 2万円×2名
- ・学生アイデア部門（中学・高校等の部、大学等の部）
最優秀賞 6万円×1名、優秀賞 2万円×2名
- ・プレゼンテーション賞、協賛賞など

- ④ 受賞者等の起業まで融資等のアフターフォローを実施

(2) ビジマッチ（交流会） ※最終審査会（決勝大会）と同日開催

(3) ネットワーク形成イベントの開催

- ・「地域しごとサポートセンター播磨」（佐用町）と連携し実施（年1回、時期検討）
- ・ビジコン応募者（さようビジネスプランコンテスト(佐用町主催：R2、3、4年度開催) 応募者含む）が近況やアイデアについて自由に情報・意見交換ができる場の提供
- ・先輩起業家、金融機関、創業支援機関との交流会の開催

(4) スケジュール

- ・6～8月 ビジネスプラン募集
- ・9～11月 1次・2次審査、起業家等によるプランのブラッシュアップ
- ・12月 最終審査会（決勝大会）、ビジネスマッチング（交流会）
- ・1月～ 起業へ向けた支援（助言・指導）、アフターフォロー

3 予算額 7,987千円

担当：県民躍動室地域振興課

班長（産業観光担当） 吉田孝二

(TEL. 0791-58-2172)

西播磨フードセレクション episode. 2

1 事業目的

西播磨産の農林水産物を使用した質の高い加工食品の発掘を行うコンテスト「西播磨フードセレクション」を開催するとともに、これまでの受賞食品のPR及び販路拡大支援を行う。

2 事業内容

事業主体：西播磨フードセレクション実行委員会
(構成員：県民局、市町、消費者団体、商工観光団体)

(1) コンテストによる食品発掘・PR

ア コンテストの開催

- ・名称：西播磨フードセレクション 2026
(平成 24 (2012) 年度から継続実施、「2023」以来 3 年ぶりの開催。)
- ・応募対象：西播磨地域の農林水産物を使用して製造された加工食品

イ 受賞食品のPR

公式ホームページや、チラシ、情報誌等による情報発信

(2) これまでの受賞食品（延 73 食品）の販売拡大支援

ア 大規模商談会出展による販路拡大支援

イ 直売所等でのフードセレクション特設コーナーの設置（新規）

(3) 新商品開発等支援

ア 新たな加工食品の開発支援

イ 既存食品の品質向上等に向けた支援

3 予算額 3, 850 千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第 1 課長 尾西 賢一

(TEL. 0791-58-2193)

④ 西播磨版スマート農業の推進

1 事業目的

土地利用型農業が中心の西播磨地域において、担い手農家の栽培面積拡大と生産性向上を図るため、スマート農業技術による省力化・効率化等の実証を実施するとともに、スマート農業技術の普及・習得を支援する。

2 事業内容

(1) スマート農業技術の実証

- ア 従来使用されているGPSと比較して位置情報の測位精度が高いRTK基地局を活用した自動操舵システムによるトラクター作業やドローンの自動航行の導入等、大規模土地利用型農業における農作業の高精度化による効率化、省力化を実証
- イ 土地利用型農業だけでなく、野菜・果樹・花き・畜産等西播磨管内各地域の特色ある農業に活用できるスマート農業技術を実証

(2) スマート農業技術の普及推進

安全かつ効率的にドローンを使用できるよう操縦者を複数確保するために必要な技能習得講習受講費用の一部を支援

(3) 「西播磨スマート農業推進協議会」の運営

- ア 地域課題把握、実証効果分析等の検討会の開催
- イ 研修会・実演会等の開催
- ウ 技術実証成果の情報発信（新規）

3 予算額 3,000千円

担当：光都農林振興事務所
農政振興第2課長 巴 慎司
(TEL. 0791-58-2195)

⑧ 西播磨サステナブル農業の振興・創造支援

1 事業目的

西播磨地域の特徴である土地利用型農業や地域の気候に応じた魅力ある農産物等を持続的な農業生産により、消費者に安定供給する取組を支援する。

2 事業内容

(1) 西播磨産農産物の産地育成・創造支援

生産組織等が行う産地育成や新規品目導入等に向けた取組を支援

【産地育成】小麦（醤油醸造用）、落花生、枝豆

【創造支援】リンドウ

（事業主体：生産者が組織する団体、農産加工グループ等）

(2) 御津野菜産地の再興（新規）

国野菜指定産地（秋冬だいこん、春夏にんじん）における若手グループの技術向上や産地体制の刷新を支援

（事業主体：若手生産者グループ等）

(3) 地域内資源の有効活用による西播磨産農産物の安定供給（新規）

堆肥や食品残渣等の地域内バイオマス資源の活用によるサステナブル農業生産の取組支援

（事業主体：生産者が組織する団体等）

3 予算額 3, 9 0 0 千円

担当：光都農林振興事務所

農政振興第2課長 巴 慎司

(Tel. 0791-58-2195)

地域づくり活動応援事業の推進

1 事業目的

魅力あふれる西播磨づくりを推進するため、地域課題に主体的に取り組む地域づくり活動団体の取組に対して、活動経費の支援や活動成果発表の場を提供する。

2 事業内容

(1) 一般枠（200千円以内／団体） ※R7年度 7団体

地域団体が地域社会の共同利益の実現を目的に取り組む新たな活動に対し、活動経費の一部を補助する。

(2) 特別枠（250千円以内／団体） ※R7年度 11団体

ア 防災意識醸成事業

南海トラフ地震や台風等の災害に備えて、防災意識を醸成するイベントや取組等に対して補助する。

イ 芸術・文化・スポーツ振興事業

地域に根付く芸術文化の保存・継承活動、または地域住民が実施する健康増進を目的としたスポーツイベント等、地域の活性化に繋がる取組等に対して補助する。

ウ 多世代協働による地域の魅力づくり事業

若者から高齢者まで異なる世代が協働し、地域の歴史や文化を継承する活動や相互のアイデアを融合した企画など、世代を超えた取組に対して補助する。

エ 移住・定住促進事業

都市住民等を受け入れる移住や交流人口の増加等につながる地域交流の推進により、地域を活性化することを目的として、地域団体等が実施する移住・定住・交流を推進する事業に対して補助する。

(3) 高校生枠（80千円以内／校） ※R7年度 9校

西播磨地域の高校等を対象に、ふるさとへの愛着を醸成する取組に対して補助する。

(4) チャレンジ事業枠（80千円以内／校） ※R7年度 3校

チャレンジ事業枠に取り組む学校については、通常の高中生枠に加えて、もう1件別事業の申請を可能とする。なお、チャレンジ事業枠については、一般・特別枠と同様に、審査会で補助額を決定するものとする。

※事業内容は、上記特別枠4事業と同じ

3 予算額 9,954千円

(内訳) 団体助成 5,410千円、活動発表会・事務費 566千円、人件費 3,978千円)

担当：県民躍動室

室長補佐兼県民課長 明石 直子

(TEL. 0791-58-2341)

西播磨地域ビジョンの推進

1 事業目的

西播磨地域の将来を描いた「西播磨地域ビジョン 2050」の基本理念及び4つの将来像と16の取組目標を周知するとともに、多様な主体と協働し、ビジョンの推進に向けた取組を進める。

2 事業内容

(1) 西播磨地域ビジョン 2050 の推進

- ・ビジョン推進チーム（地域活動応援事業採択団体）等の活動発表の場の提供及び様々な年代・立場の人との意見交流の場として、ビジョンフォーラムを開催する。

※令和7年度 29 団体

- ・ビジョンが目指す将来像の実現のためのアイデアを募集する。（ネットと紙の意見箱”を設置／局内周知を含めて局内イベント時での配置を依頼）

(2) 西播磨地域ビジョン 2050 の普及啓発

- ・将来を担う世代を中心に啓発グッズ（クリアファイル等）を配布し、取組目標の周知を図る。
- ・各種イベント、会議等の場を活用し、幅広く周知を図る。
- ・管内の高校等で出前講座を実施する。

(参考)【基本理念】光と水と緑でつなぐ 元気西播磨

将来像	取組目標
1 つながる地域のきずな西播磨 ～地域でともに支え合う繋がりのあるまち～	1 地域みんなで子育てを応援しよう
	2 次代を担う人材を育てよう
	3 ほどよいおせっかいで縁を結ぼう
	4 あらゆる多様性を尊重しよう
2 元気な西播磨 ～地域の強みを活かした賑わいと活力のあるまち～	5 自慢したい地域の資源を守り活かそう
	6 戻りたい・住み続けたい地域にしよう
	7 自分らしく活躍できる地域をめざそう
	8 地域とともに成長する産業を育てよう
3 自立の西播磨 ～地域で循環するまち～	9 自然と共生しよう
	10 地産地消を進めよう
	11 遊休資源を知恵と工夫で活かそう
	12 より輝く播磨科学公園都市をつくろう
4 安全安心の西播磨 ～誰もが安心していきいきと暮らせるまち～	13 いきいきと暮らせる地域をつくろう
	14 移動に困らない地域をめざそう
	15 健康・福祉が充実した地域をめざそう
	16 防災力を高めよう

3 予算額 500千円

(内訳) 活動発表費 300千円 啓発グッズ作成 200千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当） 田中 雅之

(TEL. 0791-58-2128)

ふるさと意識醸成プロジェクト

1 事業目的

地域への愛着と誇り（ふるさと意識）の醸成を図るため、西播磨地域の生活創造活動及び芸術文化活動の拠点である西播磨文化会館において、文化団体、高齢者大学生、生活創造活動グループ、高校生、ボランティア、NPO等と協働で、西播磨地域の特色ある芸術文化活動の発信と交流を推進する。

2 事業内容

西播磨文化会館において、文化団体等と協働して、地域の伝統文化等に関する学びや新たな地域の絆づくりなど幅広い取り組みの成果を発表・発信できる場や、多くの地域住民が芸術表現体験でき、活動の場が広がるよう発表の機会を提供し、文化会館を中心に地域活性化に資する取組みを通して、ふるさと意識の醸成を図る。

(事業例)

(1) 西播磨ふるさと文化祭

生活創造活動グループ、高齢者大学生、地元高校生などによる発表等や体験学習（伝承文化体験、芸術表現体験等）等、子どもから高齢者まで参加できる地域イベントを開催する。

(2) 西播磨文化会館と県立高等学校との連携による人材育成

西播磨文化会館と多様な専門学科を有する龍野北高等学校の双方が持つ資源の有効活用、及び高校生と高齢者の異世代交流を通じて、地域への愛着や誇りを持つようとする「ふるさと意識」の醸成を図るとともに、地域社会で貢献できる人材育成を促進する。

※ (1) については、西播磨文化会館管理運営コンソーシアム代表神姫バス（株）に委託して実施。

(2) については、同団体に補助金を交付して実施。

3 予算額 800千円

(内訳)

西播磨ふるさと文化祭	600千円
県立高等学校との連携による人材育成	200千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当） 田中 雅之

(Tel. 0791-58-2128)

⑨ 西播磨インフラツアーの開催

1 事業目的

- ・土木技術者をはじめ、入職者数（受験者数）の伸び悩みは全県的な問題
- ・小学生や高校生を対象に建設業のPRを進めているが、更なる取組が必要
- ・建設業の持続的な発展に繋げるため、各地域でインフラ施設について若年層に魅力発信することで、未来の建設業を担う人材育成を推進

2 事業内容

- ・若者層をターゲットに、西播磨地域の文化や歴史、観光資源とインフラ施設を組み合わせた見学ツアーを開催

(1) 2025 西播磨インフラツアーの開催状況



【たたらの里学習館】



【揖保乃糸資料館そうめんの里】



【赤穂市立海洋科学館・海の国】



【バスの車内】

3 予算額 本庁予算（県単）

担当：光都土木事務所
所長補佐(企画調整担当) 木下 長茂
(TEL. 0791-58-2229)

“結婚っていいな！”西播磨縁結び推進事業

1 事業目的

独身者が結婚に前向きになるよう、地域ぐるみで結婚を進める機運を醸成するため、「結婚っていいな！」西播磨縁結び推進事業」を推進する。

2 事業内容

(1) 西播磨結婚応援企業の登録

独身社員への結婚の働きかけや交流の機会づくり、結婚に関する情報の周知など、社員の結婚を応援する企業を登録。

- ① 対象企業 西播磨地域内に所在する企業（企業内の部署、支店、工場等での登録も可。）
- ② 県支援内容 ア 出会いイベント等の結婚支援情報の提供
イ 結婚に向けた活動の応援（企業が企画する縁結びイベント等をHPで周知等）
ウ 取引先、顧客等への出会いを支援する情報の提供
- ③ その他 登録企業には、登録証を交付するとともに、県民局のホームページで西播磨結婚応援企業としてPR。

(2) 西播磨縁結び推進員の委嘱

結婚に関する相談や独身者の引き合わせなどの活動を行う個人を委嘱し、研修会を実施する。

- ① 委嘱対象者 西播磨地域内に在住または在勤・在学で、未婚者支援に誠実に取り組める者。
- ② 活動内容 下記のうち任意の活動を、年間を通して実施。
ア 独身者への結婚の働きかけ
イ 独身者やその親族等からの結婚相談対応
ウ 結婚を希望する独身者の引き合わせ

(3) 高校生育児体験プログラム

西播磨管内の高校生を対象に赤ちゃんと触れ合う育児体験の場を提供し、命の大切さを実感し親になる準備や結婚・出産を視野に入れたキャリア形成の意識を醸成する。

3 予算額 700千円

担当：県民躍動室
多自然地域づくり専門官 蒲原 恵美子
(TEL. 0791-58-2133)

西播磨フロンティア祭の開催

1 事業目的

西播磨地域の連携・交流の促進と播磨科学公園都市の賑わいの創出を目的に、地域団体の活動発表や次世代科学技術の展示・体験などを主な内容として、平成14年度から開催（新型コロナ禍の令和2～4年度を除く）。

令和8年度は、フィールドパビリオン(以下、FP)フェアを同時開催し、西播磨地域のFPプレーヤーがブース出展やステージイベントを実施し、FPの認知度向上や、魅力発信を行うとともに、播磨科学公園都市の活性化に取り組む各種団体や既存施設等との連携・協力を拡充し、持続可能なイベントへの転換をこころみる。

2 事業内容

(1) 時期：令和8年10月中・下旬

(2) 場所：播磨科学公園都市 芝生広場

(3) 内容（予定）：

ア にぎわいと地域の情報発信・交流（芝生広場会場）

- ・地域づくり団体による出展、キッチンカーによる飲食提供
- ・各市町・観光協会、ひょうごフィールドパビリオンプレーヤー、エコフェス、地域づくり活動、地域ビジョン推進団体、企業庁（立地企業）、福祉施設、特別支援学校、西播磨特産品市、キッチンカー等からの魅力ある地域資源や観光場所の紹介、体験メニューの出展 等
- ・フリーマーケット団体等、自費出展者のエリアの設置

イ 播磨科学公園都市内各種施設等との連携（サテライト会場）

- ・「Spring-8」・「SACLA」見学会、兵庫県立大学（科学教室、天体設備の見学・体験）、防災備蓄倉庫（見学と非常食食事体験）、ひょうご環境体験館等と連携した次世代技術等を知り、学ぶ体験
- ・全世代が参加できるスポーツイベントの開催

3 予算額 12,256 千円

(内訳)

開催費等	8,730 千円
人件費	3,526 千円

担当：県民躍動室県民課

班長（ビジョン・青少年担当）田中 雅之

(TEL0791-58-2128)

環境学習の推進

1 事業目的

西播磨地域の環境学習施設や豊かな自然を活用したエコツアーの実施や小学生等を対象とした水生生物調査による実体験事業の実施により効果的な環境学習の推進を図る。

2 事業内容

(1) エコツアー事業

施設見学と自然観察などの実体験を盛り込んだエコツアーを年4回程度実施する（参加者各回50～100名程度）。

(例) 昆虫採集、水辺の生物観察、海辺の観察、バードウォッチング

(2) 水生生物調査

小学生が実際に河川に入り、採取した水生生物の種類により河川の水質について判定を行う水辺の水生生物調査を6～9月に6回程度（うち、2回は市川（中播磨）で予定）実施する。

(3) エコツアーを企画・実施する「県政推進員」を設置する。

3 予算額 4,966千円

担当：県民躍動室

環境課長 松林 雅之

(TEL. 0791-58-2137)

西播磨エコフェス事業

1 事業目的

個人が実践している脱炭素行動の共有や、資源循環に関する普及啓発により、脱炭素や資源循環に関する県民の理解と促進を図る。

2 事業内容

令和8年秋頃に開催予定の西播磨フロンティア祭において、エコをテーマに「西播磨エコフェス」を実施する。

(1) エコパフォーマンスショー

環境問題と科学実験、パフォーマンスを融合させた知的体験型のパフォーマンスショーを実施する。

(2) ミライ地球ガチャブース

環境課題に対する行動を促すため、ガチャから出てきた未来の地球の課題に対して適応策を回答する「ミライ地球ガチャ」を実施する。

(3) 参加型エコクイズ

ひょうご環境創造協会と連携し、ステージで脱炭素や資源循環に関するクイズ大会を行う。

3 予算額 900千円

担当：県民躍動室

環境課長 松林 雅之

(TEL. 0791-58-2137)

恵み豊かな清流千種川復活大作戦

1 事業目的

千種川では、緊急河道対策事業等の大規模河川改修事業により河川環境が大きく変化したことにより、内水面漁業等への影響など自然環境にかかる様々な課題が顕在化している。

そこで、河川管理者である県土木事務所が関係者と連携し、小さな自然再生の手法を駆使し、鮎やモクズガニなどがたくさん捕れたかつての恵み豊かな清流千種川の復活に向け、計画的かつ継続的に多様な生物が生息する河川空間の創出に取り組む。

2 事業内容

光都土木事務所による計画的かつ継続的な河川環境創出に向けた様々な取組と併せ、各関係者（土地改良センター、農林振興事務所、千種川圏域清流づくり委員会、千種川漁協等）と情報共有を行い、連携して実施する。



澗筋の形成・維持（上郡町苔縄）



バーブ工の設置（上郡町苔縄）

3 予算額 226千円

担当：光都土木事務所
所長補佐(企画調整担当) 木下 長茂
(TEL. 0791-58-2229)
河川砂防第1課長 鈴木 毅
(TEL. 0791-58-2243)

環境対策の推進

1 事業目的

管内の環境保全に関する専門的知見の集積に向けた専門家への意見聴取を通じ、環境対策を推進する。

2 事業内容

管内に設置計画のある事業場等の生活環境保全上の措置について専門家への意見聴取を行う。

3 予算額 313千円

担当：県民躍動室
環境課長 松林 雅之
(TEL. 0791-58-2137)

㊦ 防災対策にかかる県民意識向上の推進

1 事業目的

地震や台風など自然災害による被害を軽減するため、県民の自助・共助意識の更なる向上に取り組む。特に、人口減少・少子高齢化が進む西播磨地域において、次世代を担う高校生への防災教育を実施する。

また、災害発生時の被災状況の確認・救援物資搬送等でのドローン活用に向けた態勢を強化し、地域防災力の向上を図る。

2 事業内容

(1) 高校生等防災教育出前講座^{*}の実施

管内の県立高校等が実施する防災教育のニーズに応じ、有識者（大学教員等）や管内の防災士等を講師とした講座を実施する。また、教員を対象とした講座を実施し、「防災教育出前講座」の充実を図る。

あわせて、市町の防災担当部局、学校や行政、自主防災組織などの地域内での連携強化を図る。

①対象：管内の県立高校等の生徒、教員

②内容：専門家による実践的なワークショップ・講義

③講師：有識者(大学教員等)、自衛隊員、消防隊員、管内の防災士等

※実績：H29（事業開始）以降、延べ126校、24,000人以上が受講

(2) ドローン防災協力員派遣機能の強化（新規）

西播磨地域での災害発生対応等の協力者（以下、ドローン防災協力員）を対象とした研修会を実施し、ドローン操縦技能と知識の向上によりドローン防災協力員派遣機能を強化する。

(3) 「ひょうご安全の日」西播磨地域のつどいの開催

将来の災害への備えの充実を図るため、西播磨地域のつどいを開催する。

①対象：一般県民、防災士、ドローン防災協力員、市町防災担当者等

②時期：令和9年1月（予定）

3 予算額 7,273千円＋本庁予算

担当：総務企画室総務防災課

班長（企画防災担当）小林 寛明

(TEL. 0791-58-2168)

引原ダム再生事業の推進

1 事業目的

引原ダムにおいて、さらなる治水安全度を向上させ、揖保川流域の浸水被害の軽減を図るため、堤体の嵩上げや放流設備を新設するダム再生事業により、現在のダムの洪水調節機能を大幅に強化する。

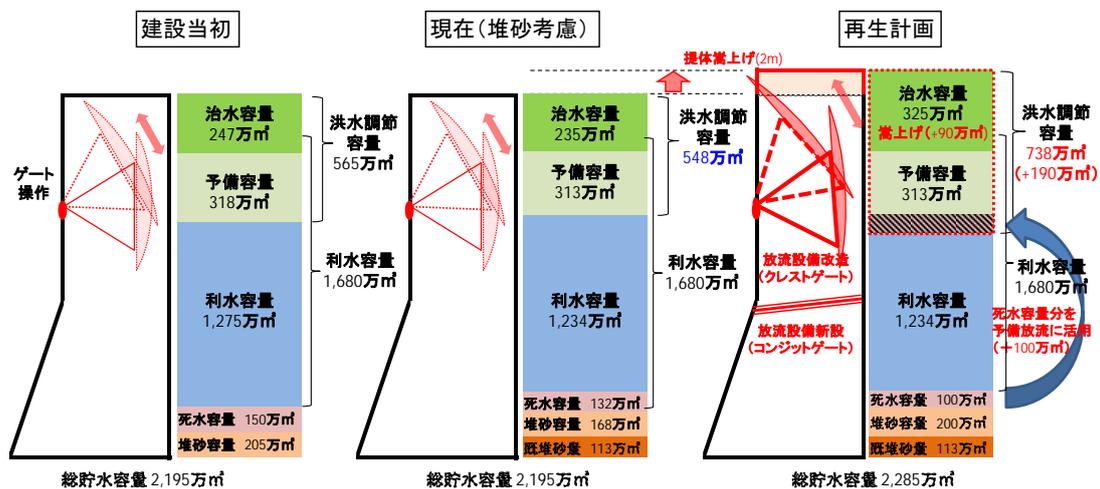
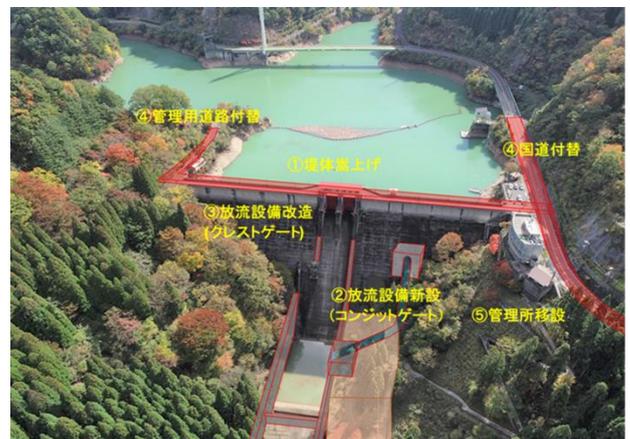
2 事業内容

[令和8年度の事業内容]

本体工事(減勢工・導流壁改造、仮設構台)、
放流設備工事(仮締切)、用地補償

[全体事業内容]

- ・堤体嵩上げ
(ダム高+2m、洪水調節容量+90万 m^3)、
- ・放流設備の新設
(コンジットゲート ϕ 3m)
- ・放流設備の改造(既設クレストゲート)
- ・ダム周辺道路の付替(国道29号、管理用道路)



3 予算額 本庁予算(公共)

担当: 光都土木事務所
ダム管理課長 松井 剛志
(TEL. 0791-58-2247)

総合治水の推進

1 事業目的

気候変動に伴う降雨量の増大により、近年ますます激甚化、頻発化が予想される水災害リスクの増大に備えるため、河川や下水道を整備する「ながす」対策に加え、校庭やため池などを活用して一時的に貯留・浸透させて流出量を抑える「ためる」対策、浸水した場合でも被害を小さくする「そなえる」対策を組み合わせた『総合治水』に流域全体で取り組む。

2 事業内容

項 目	西播磨西部(千種川流域圏)	西播磨東部(揖保川流域圏)
河川下水道対策 (ながす)	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修の推進 (千種川、加里屋川等) 	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修の推進 (揖保川等) 既存ダムの有効活用 (引原ダム再生等)
	<ul style="list-style-type: none"> 水門や排水機場の維持管理 	
流域対策 (ためる)	<ul style="list-style-type: none"> 田んぼダムの取組拡大、ため池の治水活用の推進(西播磨全域) 既存ダムにおける事前放流 (引原ダム等) 各戸貯留の助成事業の促進 	
減災対策 (そなえる)	<ul style="list-style-type: none"> CGハザードマップ、河川情報システムの利用拡大に向けた広報活動 各種イベントにおける総合治水の取組広報 市町によるハザードマップ、地域による防災マップの作成支援 フェニックス共済の加入促進 	

3 予算額 本庁予算 (公共・県単)

担当：光都土木事務所
 所長補佐(企画調整担当) 木下 長茂
 (TEL. 0791-58-2229)

西播磨「田んぼの力」プロジェクト

1 事業目的

田んぼの多面的機能の一つである「雨水の一時貯留機能（洪水調整機能）」をより高め、洪水被害の防止・軽減を図るため、田んぼダムの取組を拡大する。

また、地域住民が疏水※に親しみ、理解を深めていただくための住民参加型の保全活動を支援する。 ※ 河川等から取り入れた農業用水が流れる水路とそれに附属する施設全般

2 事業内容

(1) 田んぼダムせき板の配布

実施を希望する農家を対象に、田んぼダムの効果や実施方法について、多面的機能支払交付金制度実施地区等を対象に説明会を開催する。また、「田んぼダムせき板」の無料配布を行う。

・取組実績（H25～R7）2,207ha → R16目標：3,060ha

(2) 住民参加型「田んぼ・疏水・ため池」等保全活動の支援

土地改良区等地元が主体となって実施する生き物教室や疏水学習会など、地域住民が疏水に親しみ、知ってもらうための保全活動を支援する。

- ・地域用水ウォーキングの開催及び「疏水・ため池」等まつりの開催
- ・疏水生き物教室や歴史教室の開催
- ・看板の設置及びワークショップの実施（保全活動計画づくり等）等

[実施主体] 土地改良区、地域づくり団体等

[補助率] 定額、上限100千円/件

3 予算額 1,200千円

(1) 田んぼダムせき板の配布	500千円
(2) 住民参加型「田んぼ・疏水・ため池」等保全活動の支援	700千円
計	1,200千円

担当：光都農林振興事務所

光都土地改良センター

農村計画課長 合田 弘

(TEL.0791-58-2215)

農政専門員 横田 欣仁

(TEL.0791-58-2225)

 西播磨地域 障がい者社会参加プロジェクト

1 事業目的

障害者の社会参加の促進や収入アップ、及び地元農業の振興を図るため、福祉事業所と農業者を中心に学生、専門家など分野の異なる関係者が参加する加工品開発会議を開催し、地元で生産された規格外の農産物から加工品を開発して販売する。

2 事業内容

- (1) 加工品開発会議の開催、及び参加者の確保に向けた取り組み
 - ① 福祉事業所や農業者、大学、デザイナー等が参加する加工品開発会議の開催
開催回数：年5回
 - ② 福祉事業所と農業者の理解を深めるツアーを開催
開催回数：年1回

- (2) 商品の高品質化や販売促進に向けた研修会を開催
開催回数：年1回

- (3) 商品のPRと販路の拡大（新規）

3 予算額 500千円

担当：龍野健康福祉事務所

生活福祉課 橘
(TEL. 0791-63-5137)

姫新線利用促進・活性化対策

1 事業目的

J R 姫新線沿線の地域資源を活用した利用促進イベント等を実施することにより、年間乗車人員の目標 300 万人の維持・向上と沿線地域の賑わいづくりを推進する。

また、県内の J R ローカル線の維持・活性化に向けて設置された「J R ローカル線維持・利用促進協議会」及び「J R 姫新線維持・利用促進ワーキングチーム」で検討された利用促進策を実施する。

2 事業内容

(1) 姫新線沿線での利用促進イベント等の実施

① 姫新線と沿線地域資源を結ぶ利用促進イベントを実施

管内のひょうごフィールドパビリオンや、金出地ダム等の地域資源を活用したイベントを実施

② 沿線学生による「マイレールの取組」

- ・ 姫新線車内にて中づり広告を掲出
- ・ 主な利用者である沿線高校の生徒による駅周辺清掃活動への協力等、沿線高校と共同して「私たちの鉄道（＝マイレール意識）」の醸成を図る
- ・ ノベルティの配布

③ 沿線市町等と構成する「姫新線利用促進・活性化同盟会」での利用促進活動の展開

- ・ 県、沿線市町等が協力して J R 姫新線の利用者増に向けた利用促進・PR 活動を展開する「姫新線利用促進・活性化同盟会」に参画するため、負担金を拠出
- ・ J R 姫新線開通 90 周年記念事業へ参画

④ 岡山県との連携事業

兵庫県と岡山県を結ぶ姫新線の利用促進策を岡山県美作局と連携して検討

3 予算額 8, 384 千円

担当：総務企画室総務防災課

班長（企画防災担当）小林 寛明

(TEL. 0791-58-2168)

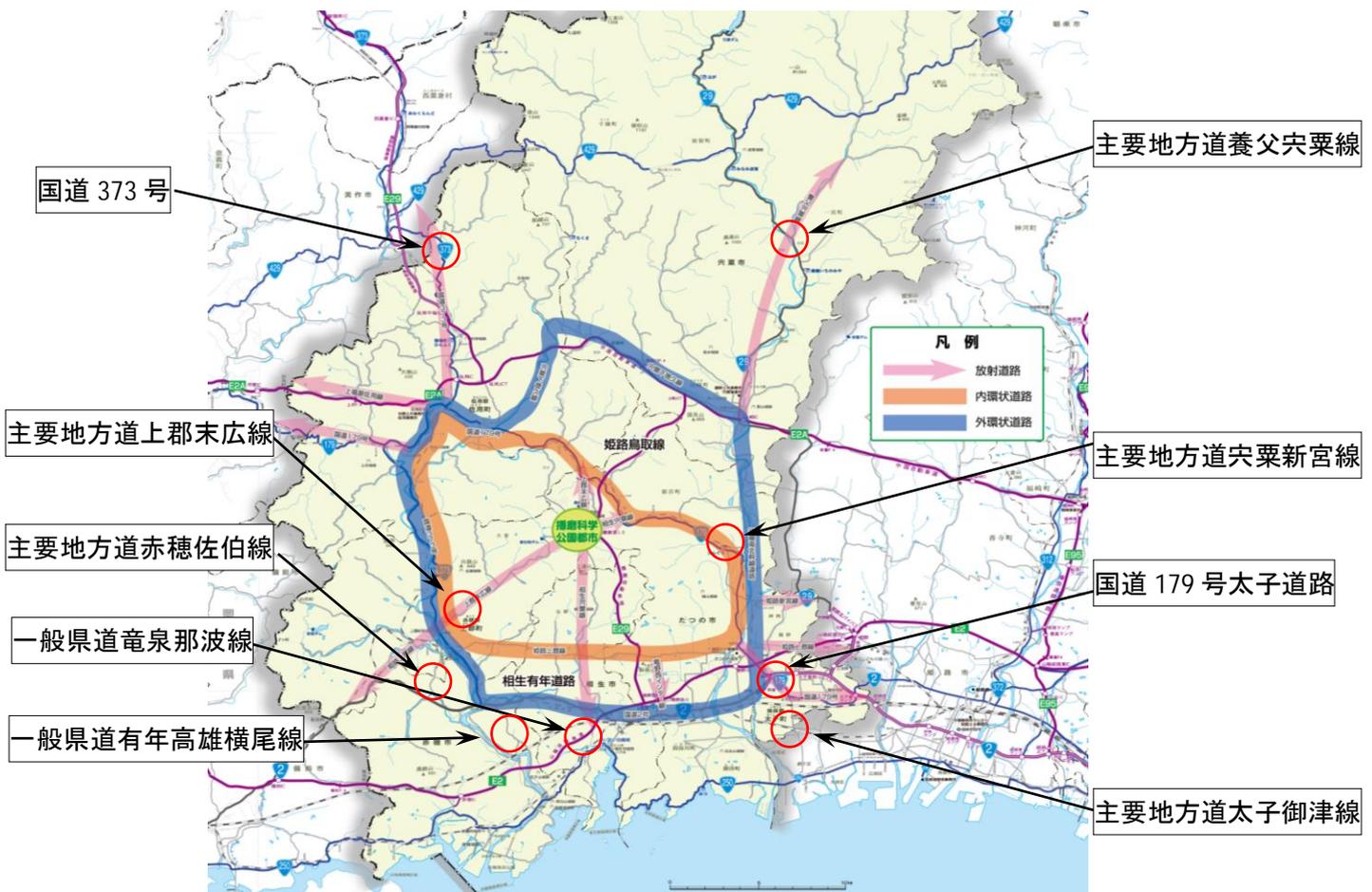
播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり

1 事業目的

播磨科学公園都市を核とする放射道路と環状道路による道路ネットワークの構築により、地域の連携強化と災害時における円滑な輸送路の確保をめざす。

2 事業内容

○主な事業箇所



3 予算額 本庁予算（公共・県単）

担当：光都土木事務所
所長補佐(企画調整担当) 木下 長茂
(TEL. 0791-58-2229)